



山階だより

令和7年度
臨時号

令和7年10月
京都市立山階小学校
校長 太田 由佳

学校教育目標

豊かな人間関係を築き、よりよい未来を創造する山階の子
～ふるさと山階なかまと共に～

第1回学校アンケートの結果集計について

平素は、本校教育活動の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

7月に実施しました児童・保護者・教職員を対象にしたアンケートの結果をまとめましたので、お知らせします。



A…そう思う B…だいたいそう思う C…あまり思わない D…思わない

児童アンケート

※ 数字は割合(%)です

【知】	1,2年				3～6年			
	A	B	C	D	A	B	C	D
①学習のめあてが分かり、学習を進めることができている。	47	36	12	5	52	43	3	2
②学校や家で読書をしている。	59	25	13	3	42	31	20	7
③進んで家庭学習をしている。	49	28	19	4	37	35	22	6
④自主学習では、自分の課題に合った内容を選んで取り組んでいる。					50	40	7	3
⑤正しいかどうかよく考えて、行動している。	42	40	12	6	36	52	9	3
⑥相手の話をよく聞いたり、自分の考えをていねいに伝えたりしている。	57	30	9	4	51	36	11	2
⑦友だちと相談したり、役割を分担したりしながら活動に取り組んでいる。	47	38	9	6	61	32	6	1
⑧自分の思いや考えをまとめ、伝えている。	47	35	12	6	45	39	14	2

【徳】	A	B	C	D	A	B	C	D
①学校は楽しい。	68	19	5	8	70	21	6	3
②友達と協力してなかよく過ごしている。	68	23	5	4	78	18	3	1
③気持ちのよいあいさつをしている。	66	25	7	2	64	29	6	1
④おうちの人や先生は、よく話を聞いている。	74	13	8	5	73	22	3	2
⑤ぼく(わたし)には、自分らしいよさがある。	70	24	5	1	66	24	7	3
⑥家や学校の役割(手伝い)を進んで行っている。	56	27	14	3	46	35	16	3
⑦困ったことや心配なことがあるとき、先生に話したりたずねたりすることができる。	55	33	6	6	52	32	13	3
⑧スマートフォンやSNS等の使い方やマナーについて話し合い、家庭に約束事がある。	64	21	5	10	50	28	12	10
⑨担任以外の先生とも学習したり相談したりすることはできている。	57	32	6	5	53	31	14	2

【体】	A	B	C	D	A	B	C	D
①早寝早起きができ、朝ごはんを毎日食べている。	57	29	6	8	58	30	8	4
②体を使った遊びや運動を楽しんでいる。	75	16	5	4	70	21	7	2
③健康に気をつけて過ごしている。	71	14	9	6	70	22	5	3

【全般】	A	B	C	D	A	B	C	D
①学校みんなのめあて(学校教育目標)を知っている。	57	23	12	8	49	35	11	5
②学校での様子を家の人に伝えている。	53	31	4	12	67	25	6	2
③地域の方との触れ合いを大事にしている(あいさつをしっかりとる。お話をしっかりと聞くなど)	68	23	8	1	62	32	5	1

保護者アンケート

【知】	A	B	C	D
①子どもは、めあてをもち、自ら学習を進めている。	18	52	27	3
②子どもは、家や学校で読書をしている。	23	35	31	11
③子どもは、進んで家庭学習に取り組んでいる。	18	42	33	7
④子どもは、分からないことや知りたいことがあると、自ら調べようとしている。	18	47	29	6
⑤子どもは、相手の話をよく聞いたり自分の考えをていねいに伝えたりしている。	17	58	23	2
⑥子どもは、論理的に考え、それを表現する力を身につけている。	11	49	35	5

【徳】	A	B	C	D
①子どもは、楽しい学校生活を送っている。	45	48	6	1
②子どもは、友達と協力して仲良く過ごしている。	43	51	6	0
③子どもは、気持ちのよいあいさつをしている。	24	65	10	1
④子どもは、正しいかどうかよく考えて行動している。	26	58	15	1
⑤子どもは、自分や友達のこと等について話している。	44	48	7	1
⑥子どもは、自分にはよいところがあると感じていると思う。	38	54	6	2
⑦子どもは、家庭での仕事(お手伝い)を進んでしている。	16	44	35	5
⑧子どもは、先生や家の人に自分のことをわかってもらい、話を聞いてもらったり相談に乗ってもらったりしていると感じている。	26	65	8	1
⑨スマートフォンやSNS等の使い方やマナーについて話し合い、家庭に約束事がある。	30	51	15	4
⑩子どもは、複数の教員が連携して授業を行っていることについて、家で話題にしている。	16	48	28	8

【体】	A	B	C	D
①子どもが、早寝早起きができて朝ごはんを毎日食べられるよう働きかけている。	56	40	3	1
②子どもは、体を使った遊びや運動を楽しんでいる。	57	36	6	1
③子どもは、健康に気をつけた生活を過ごしている。	37	56	7	0

【全般】	A	B	C	D
①学校の教育目標や目指す子ども像を知っている。	10	72	17	1
②子どもたちの学校での様子や学習内容を知るために、参観や懇談会等の行事に参加したりお便りやホームページを見たりしている。	37	58	4	1
③学校と家庭との連絡や情報共有が、子どもの学びや生活に役立っている。	32	64	3	1
④学校・地域・家庭が協力しながら、子どもたちの成長を支えている。	42	57	1	0

【アンケート結果の考察】



【知】

今年度、本校では「学習を自己調整する力」を高めるため、効果的な指導のあり方を日々改善を図りながら進めています。児童が学習のはじめに「めあて」をもち、自ら学習を進められるよう、教員は日々工夫を重ねています。児童アンケートの結果では①「学習のめあてが分かり、学習を進めることができている」と感じている児童が、1・2年生では83%、3～6年生では95%にのびりました（「そう思う」「だいたいそう思う」と回答）。また、保護者アンケートにおいても、①「子どもはめあてをもち、自ら学習を進めている」との項目に対して、70%の方が肯定的に回答されています。今後も、児童が「受け身になる授業」ではなく、自ら「学びたい」と思えるような授業づくりを目指していきます。

一方で、保護者アンケートの②「子どもは家や学校で読書をしている」③「子どもは進んで家庭学習に取り組んでいる」との項目では、約40%の方が消極的な回答をされていました。これを受けて、学校での読書週間の取組や、家庭学習に関する声かけを家庭でも行えるよう、情報発信や取組の推進が必要であると考えています。

【徳】

①「学校は楽しい」、①「子どもは楽しい学校生活を送っている」という項目では、児童・保護者の結果とも肯定的な回答が90%以上（低学年のみ87%）となりました。このことから、児童・保護者とも安心して児童が学校生活を送っている様子が読み取れます。また、⑤「自分らしいよさがある（児童）」⑥「子どもは、自分にはよいところがあると感じている（保護者）」⑥「子どものよさや努力を言葉や態度で伝えている（教職員）」といった項目でも、90%以上が肯定的な回答でした。児童・保護者・教職員のいずれの視点からも、子どもたちが「自分らしいよさ」を認識し、それを周囲が受け止めている様子がうかがえます。今後も、子どもたちが自分のよさに自信をもち、互いのよさを認め合える温かな学校づくりを進めていきます。

⑧「スマートフォンやSNS等の使い方について家庭で話し合い、約束事がある」については、約20%前後が消極的な回答でした。この点から、情報モラル教育を学校でさらに進める必要があるとともに、学習内容を家庭とも共有していく必要があると考えられます。

【体・全般】

基本的な生活習慣に関する「早寝・早起き・朝ごはん」の項目では、低学年で86%、3～6年生で88%、保護者では96%が肯定的に回答しました。今後も、保健だよりや生活習慣の取組を通して、規則正しい生活の大切さを児童に伝えていきます。

「体を使った遊びや運動を楽しんでいる」という項目では、児童・保護者・教職員のいずれも90%以上が肯定的な回答でした。今年度は、運動委員会によるタグラグビー用タグやフラフープの貸出、遊び教具の紹介などを行い、運動に親しめる環境づくりを進めています。こうした取組が、子どもたちの「体を動かすことは楽しい」という気持ちにつながったと考えられます。

また、「地域の方とのふれあいを大事にしている」「学校・地域・家庭が協力して子どもたちの成長を支えている」との項目でも、90%以上が肯定的な回答でした。日頃から地域の方々に学校活動を支援していただいております。児童・保護者・教職員が、地域や家庭との連携の重要性を認識していることがうかがえます。

【学校運営協議会「あいあい山階」理事会で出た意見のまとめ】

- ・子どもたちが、楽しみながらもしっかりと学習に取り組んでいる様子がよく分かった。
- ・子どもを取り巻く環境が変化してきている今、学校でさまざまな経験や人との出会いを重ねていくことが、ますます大切なっていると感じる。
- ・ICT機器の活用が進んでいることはとても良いことだが、使い方のバランスも重要である。
- ・お手伝いに対する認識には、子どもと保護者の間で違いがある。1年生の生活科では、家族を「にこにこにする」ことをテーマに学習している。お手伝いをすることで「自分が役に立った」「家族が喜んでくれることが自分もうれしい」といった経験を、今後も大切にしていってほしい。

保護者の皆様には、お忙しい中、「令和7年度前期学校アンケート」にご協力いただきありがとうございました。よかった点や課題も含め、保護者の方や地域の方と共有し、よりよい学校づくりにつなげていけたらと思います。今後も、アンケートを継続していきますので、保護者の方のご協力を是非お願いしたいと思います。

アンケート内容に関わる学校教育活動の一例とその成果

◎読書活動（読書に親しむための取組）

地域の方と教職員で児童が読書に慣れ親しめるように取組を行っている。

読書タイム

水曜日以外は、毎朝の読書タイム。
児童は、好きな本を手に取り読書に慣れ親しんでいる。



読書週間

年に2回読書週間を実施。図書委員会によるイベントやすずかけの会の方による読み聞かせ、担任・担任以外からの読み聞かせを楽しむ。

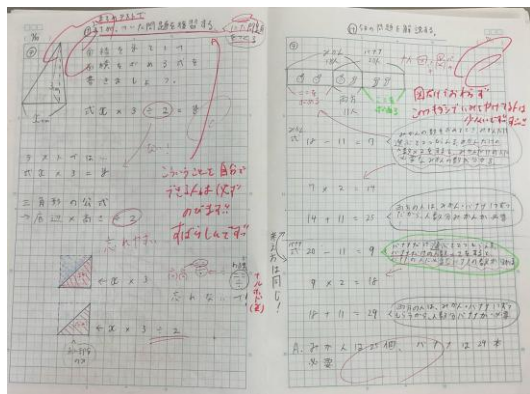


地域の方・すずかけの会の方による取組

放課後図書館開館・青空読み聞かせ・PTA主催のお楽しみ会での読み聞かせ。



◎自主学习（自分にあった家庭学習の選択）



一律の宿題ではなく、自分にあった課題を選ぶ。

なぜ間違えたのか、身につけるためにはどうすればよいかまで考える。

今後の課題として、家庭学習の習慣化を支援するため、学年ごとの「家庭学習モデル」や「おすすめ課題リスト」の配布や「よい学びにつながるノート」の共有等を行っていく。

◎体力向上の取組

運動委員会の取組

フラフープ、タグの貸出 → 鬼ごっこやドッジボール以外の遊びを楽しむ。



運動に親しめる環境づくり

遊びを通して投げる、跳ぶにつながる → 環境を整備することで、児童の「やってみたい」につなげる。

